

大阪市立大学大学院

都市経営研究科 開設記念特別シンポジウム

# 小磯良平が描いた恒藤恭

## —大学の原点を見つめて

一枚の肖像画が映し出す  
大学史を辿り、見つめ直す  
大阪市立大学の原点。  
大学院の船出の先にある  
大学全体の展望とは。

小磯良平 (撮影 荒尾純)



大阪市立大学初代学長 恒藤恭

2018年5月25日(金)

18:00～20:30 (17:40 開場)

参加費無料 / 定員 100 名  
(申し込み不要、当日先着順)

場所

大阪市立大学 梅田サテライト  
文化交流センターホール  
(大阪駅前第2ビル6階)



日本を代表する洋画家である小磯良平（1903-1988）は、昭和期に肖像画の傑作を多く残したことで知られています。本学大学史資料室所蔵の小磯良平による恒藤恭（1888-1967）大阪市立大学初代学長の肖像画は、外部への一般公開が行われていない言わば幻の作品でしたが、この度、小磯記念美術館のご協力により、肖像画について詳細に分析調査していただけることになりました。

2018年4月、都市経営研究科が開設されるとともに、大学史資料室も本格的にオープンいたしました。そこで、1枚の肖像画が映し出す大学史を辿り、大阪市立大学の原点を見つけることで、大学院の船出の先にある大学全体の展望を、参加者の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

## プログラム

18:00～18:05

開会挨拶



荒川哲男  
大阪市立大学長

18:05～19:05

基調講演

「大阪市立大学の原点から現点へ—恒藤恭とその時代—」

桐山孝信（大阪市立大学特命副学長）

「肖像画家としての小磯良平—《恒藤恭氏肖像》を読み解く—」

高橋佳苗（神戸市立小磯記念美術館学芸員）

- 休憩（15分） -

19:20～20:30

パネルディスカッション

パネリスト



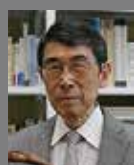
桐山孝信  
法学研究科教授・  
大阪市立大学特命副学長  
（国際法学）



安竹貴彦  
法学研究科教授・  
大阪市立大学大学史資料室長  
（日本法制史）



高橋佳苗  
神戸市立小磯記念美術館学芸員  
（日本近代美術史）



広川禎秀  
名誉教授文学博士・  
大阪市立大学恒藤記念室特任教授  
（日本近現代史）

司会



久末弥生  
大阪市立大学都市経営研究科教授  
（行政法、民事訴訟法、法制度）

### 大阪市立大学大学院 都市経営研究科とは

都市に今後訪れる人口減少と産業空洞化に対応できる、新しい時代の要請「イノベーション」と「サステナビリティ」を2つのキーコンセプトとした都市の再生と創造をめざす新たな研究教育拠点です。

本シンポジウムについてのお問い合わせは、  
大阪市立大学大学院都市経営研究科（TEL:06-6605-3508）へお願いします。